THINKWARE™ DASH CAM

F750

ユーザーマニュアル

CE RoHS

本ドライブレコーダー（ダッシュカム）は運転中の状況を連続して録画できるオンボードデバイスです。

本機はすべての事故のビデオ録画を保証するものではありません。

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

目次

シンクウェアドライブレコーダー™ F750をご使用の前に 2
安全にお使いいただくために 3

01 はじめに
1-1. 構成部品 5
1-2. オプションアクセサリー 5
1-3. 製品の概要 6
1-4. メモリーカードの挿入 7
1-5. 車両への設置 8

02 基本操作
2-1. 電源のOn/Off 10
2-2. 自動調整 11
2-3. 車線逸脱警報システム（LDWS） 12
2-4. 前方衝突警報システム（FCWS） 12
2-5. 記録ファイル 13
2-6. 運転中のビデオ録画 14
2-7. パーキング中のビデオ録画（オプションアクセサリー） 16
2-8. 手動録画 17
2-9. 録音 18
2-10. MicroSDカードのフォーマット 18
2-11. 設定の初期化 19
2-12. ファームウェアのアップグレード 19

03 モバイル・アプリケーション
3-1. シンクウェアダッシュカムモバイルビュアー 20

04 PCビュアーソフトウェア
4-1. シンクウェアダッシュカムコンピュータビュアー 29

05 デバイス情報
5-1. 仕様書 34

シンクウェアドライブレコーダー™ F750をご使用の前に

▶ 著作権法により、本ユーザーマニュアルはシンクウェアの書面による同意なく一部または全体を複製することはできません。

▶ シンクウェアは、事前の予告なく本ユーザーマニュアルの内容および製品を変更または修正することがあります。

▶ 本ユーザーマニュアルのイメージは、説明を目的とするイラストであり、実際の製品とは異なる場合があります。

▶ ユーザーは、本ユーザーマニュアルに規定された目的以外に、本製品を使用する権利を有しません。個人情報保護法および他の関連する法律に従い、本機により録画されたビデオおよび会話が同意なく流通した場合、本ユーザーおよび所有者は法的責任を負うものとします。

- MicroSD メモリーは、定期的にエラーのチェックをする必要があり、また、メモリーカードは消耗品であるため、定期的に交換する必要があります。
- シンクウェアは、誤用や修正、純正品ではない部品およびアクセサリーの使用から生じる問題に対する損害に責任を負いません。
- 本機および録画したビデオは、個人的なご利用を目的とし、録画されたビデオは参考記録としてのみご利用ください。
- 内蔵の衝撃センサーは衝突時の衝撃レベル、ユーザー設定の組み合せによりアクティブ化されないことがあるため、本機はすべての事故のビデオ録画を保証するものではありません。

FCC ID: 2ADTG-F750

安全にお使いいただくために

◈ 本機はDC12VおよびDC24V　マイナスアース車専用です。12V・24V車以外では故障の原因となりますので絶対に取り付けしないでください。

◈ フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。フロントガラス上部より20%以内になるように設置してください。
※ 道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37

◈ ドライブレコーダー本体が運転者の視界の妨げにならないように取り付けを行なってください。その際ミラーと干渉しない位置に取り付けしてください。

◈ ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。

◈ 本製品を車検シールの上に貼らないでください。

◈ 地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。

◈ 本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

◈ 本体カメラ側に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取り付け位置には十分注意してください。

◈ 衝突軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けを行ってください。

◈ 取り付け作業前には、必ずバッテリのマイナス端子をはずしてから作業を行ってください。ショートによる感電やけがの原因となります。

◈ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、付属のケーブルホルダーやテープ等で確実に固定してください。運転の妨げ等により事故の原因となります。

◈ 本機および電源コードを分解したり、改造は絶対にしないでください。事故、故障の原因となります。

◈ 本機の電源が入らないなど、故障状態と思われる状態で使用しないでください。

◈ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。間違ったヒューズを使用すると火災の原因となります。

◈ 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

◈ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けをしないでください。 エアバッグシステムが正常に動作できず、怪我の原因となります。

◈ 運転者は走行中にSDメモリーカードの抜き差しやスイッチ操作をしないでください。 事故の原因となります。また、本機を操作する際は必ず安全な場所に車を停車させてから操作を行ってください。

◈ 付属のシガーライタープラグがシガーライターソケットの形状に合わない場合は、無理に使用しないでください。火災や感電の原因となります。

◈ 機器内部に水や異物を入れないでください。故障の原因となります。

◈ 本機の取付・配線は、必ず付属の部品を指定通り使用してください。また、取り付け方法がわからない場合等は、安全のため必ずお買い上げの販売店にて取り付けを行ってください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

◈ コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被膜が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

◈ 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

◈ 本機を車載専用です。車載用途以外での使用はおやめください。故障や怪我の原因となることがあります。

◈ しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり、衝撃があっても動作しないことがあります。

◈ 本機に、強い力やショックを与えることや、落下させるようなことは絶対におやめください。故障の原因となります。

◈ シガーライタープラグを抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。コードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。

◈ 濡れた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。

◈ 雨が吹きこむところなど水のかかるところや、湿気、埃、油煙の多いところへ取り付けないでください。本機に水や結露(エアコンホース周囲など)、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

◈ ダッシュボード上など直射日光が当たり続けるところへ取り付けないでください。本機が高温となり、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

◈ 両面テープで取り付ける場合は、取り付け場所の汚れをきれいに拭き取ってから取り付けを行ってください。

◈ カード挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

◈ 本機は衝撃を検知して映像を記録する機能を有しますが、すべての状況において映像を記録することを保証するものではありません。本体の取り付け状況や衝撃の強さなどにより、衝撃がうまく検知できず映像書き弄されないことがあります。

◈ 衝撃を感じても映像が記録されなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。

◈ 本機は、事故の検証に役立つことも目的とした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。

◈ 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切責任を負いません。

◈ LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影するタイミングにより信号が点滅して撮影される場合や、一時的に消えてしまったように撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件につきまして、弊社は一切責任を負いません。

1. はじめに

本ユニットは、周辺機器のシールドケーブルを用いてテストしました。
品質を確保するため、ユニットにはシールドケーブルを使用してください。

1-1. 構成部品



メイン ドライブレコーダー ユニット



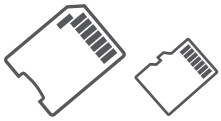
3Mテープ付きマウント (1個)



電源ケーブル (シガーソケット)



接着ケーブルホルダー (5個)



アダプタ付きMicroSDメモリーカード (消耗品)



USB MicroSDカードリーダー



クイックスタートガイド/保証書/ ユーザーマニュアル (MicroSDカードに保存)

1-2. オプションアクセサリー

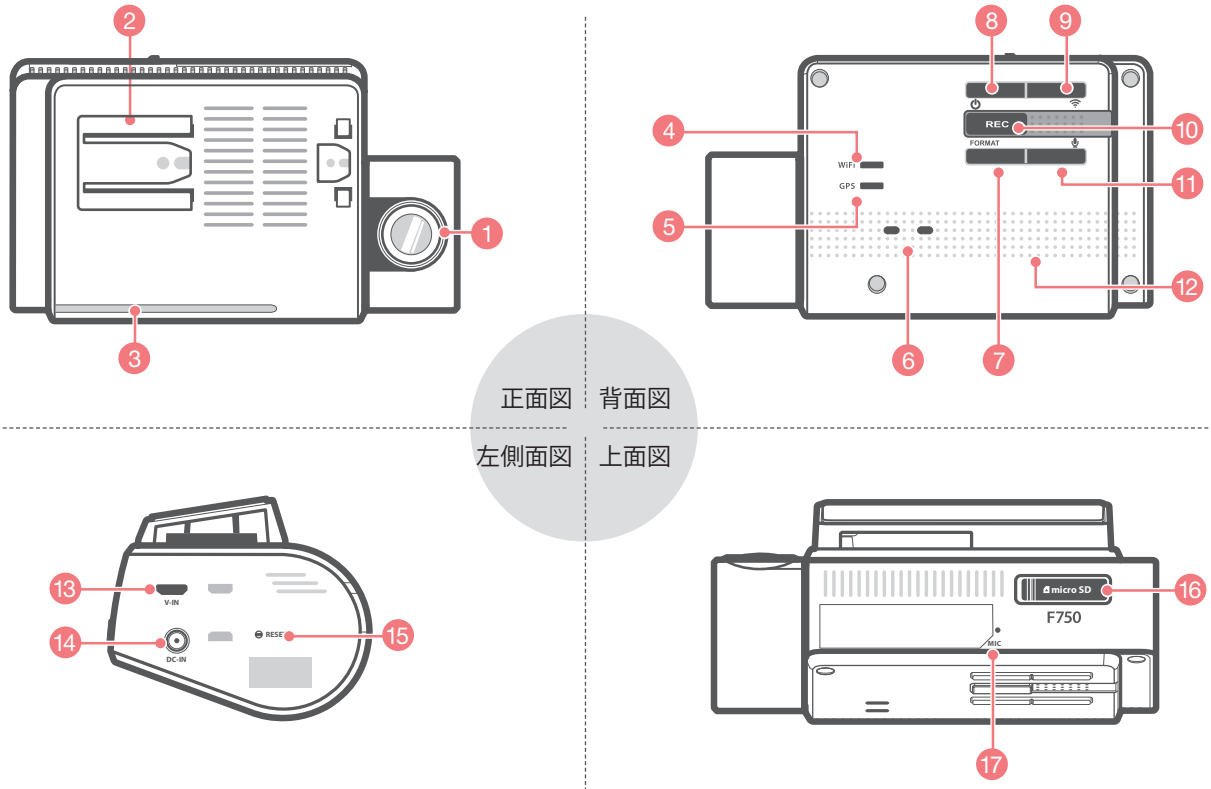


バッテリー電源ケーブル



リアビューカメラ

1-3. 製品の概要



No.	名前	説明
1	カメラレンズ	ビデオ録画のためにカメラを正面に向ける。
2	マウントコネクタ	フロントガラスのマウントに接続する。
3	セキュリティ LED	車両に備え付けられたダッシュ・カムが稼働中であることを視覚的に示すLEDライト
4	Wi-Fi LED	Wi-Fi 機器の接続状態を表示。(接続時ブルー)
5	GPS レシーブ LED	内蔵 のGPS アンテナの受信状態を表示
6	操作ステータス LED	本機の操作中状態を表示
7	フォーマット・ボタン	メモリーカードの初期化には3秒長押しする。
8	電源 ⏻ ボタン	本機を ON/OFF するには、3秒間押す。
9	Wi-Fi ( ) 接続ボタン	短く押すとパスワードを使ってWi-Fiと接続 長押し(5秒以上)するとWPS機能によりWi-Fiと接続
10	録画ボタン	手動録画を開始
11	録音 🎤 ボタン	録音の開始/解除
12	スピーカー	警告/通知音と音声ガイダンス用
13	V-IN コネクタ	リアビューカメラに接続(リアビューカメラは別売りオプション)
14	DC-IN コネクタ	電源ケーブルを接続する端子
15	リセットボタント	本機を強制的にリセットする場合に押す。
16	メモリカードスロット	付属のMicroSDカードを装着するスロット
17	マイク	音声を記録するためのマイク

1-4. メモリーカードの挿入

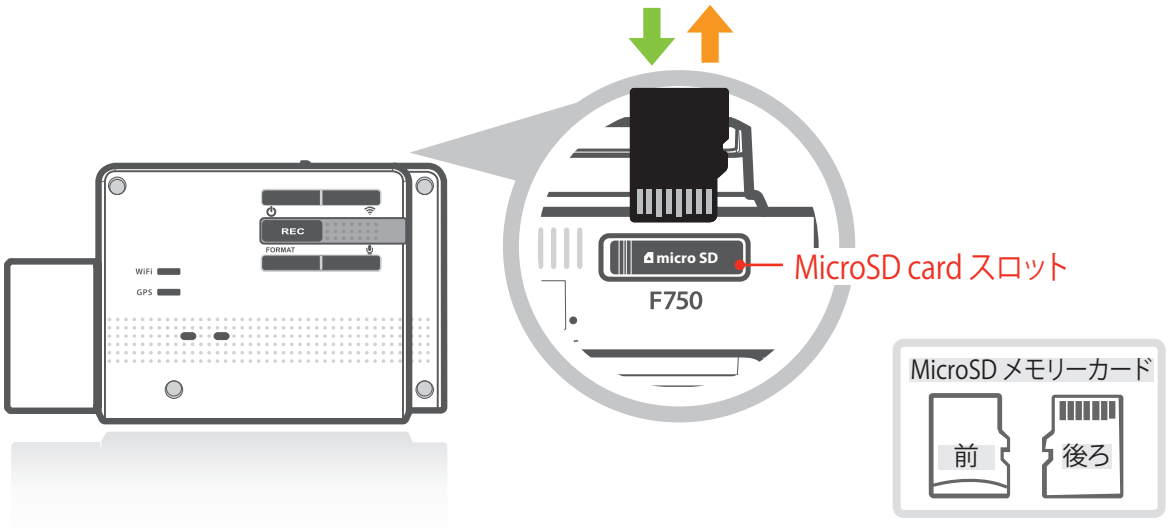
1-4-1. メモリーカードについて

▶ 本製品に使用する MicroSDカードは、UHS規格対応の 16GB、32GB、64GBの記録容量のものをご使用ください。少なくとも16GBのメモリーカードをご使用いただくことを推奨します。

▶ MicroSDカードは、メモリーカードの寿命を長持ちさせるために、2週間ごとに初期化してください。

1-4-2. MicroSDカードを挿入する

MicroSDカードの端をスロットがカチッという音がするまで押す。MicroSDカードを取り出しスロットカバーを閉じる。



MicroSDカードとカードスロットが損傷することがあるため、MicroSDカードに過度な力を与えたり、違う方向に挿入しないでください。

注意

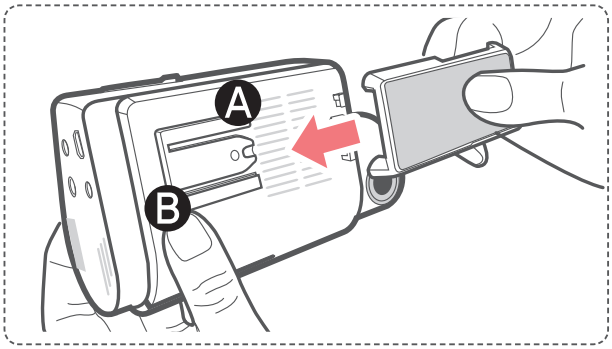
- メモリーカードは消耗品であり、定期的に交換する必要がありますので、MicroSDカードは、定期的にエラーをチェックしてください。
- 純正品または正規の部品あるいはアクセサリーをご使用にならないことにより発生する問題および損害にシンクウェアは責任を負いません。メモリーカードのエラーを最低限にするためにシンクウェアのメモリーカードのご使用を推奨します。
- メモリーカードへのダメージを避けるため、MicroSDカードを取り外す前に本機の電源が完全にオフであることを確認してください。
- 重要なデータの損失を防ぐために、MicroSDカードから録画したビデオをパソコンや他の記憶デバイスに頻繁にコピーしてバックアップしてください。

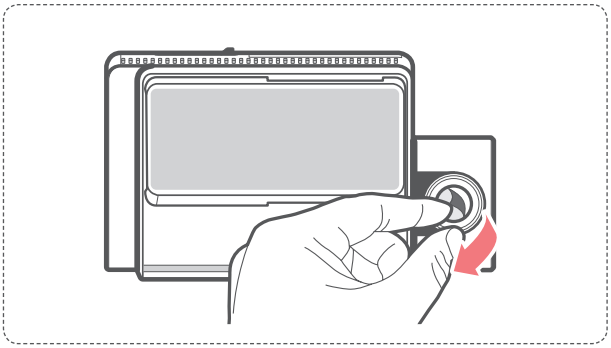
1-5. 車両への設置

1-5-1. 本体とマウントの接続

① コネクタ(A)とマウントを水平にし、カチッという音がするまで(B)の方に押し込みます。

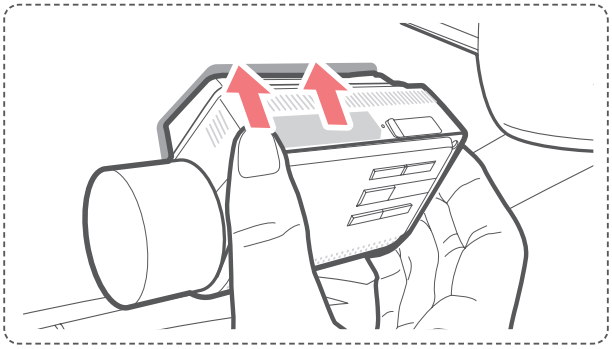
② カメラレンズの保護フィルムを剥がします。

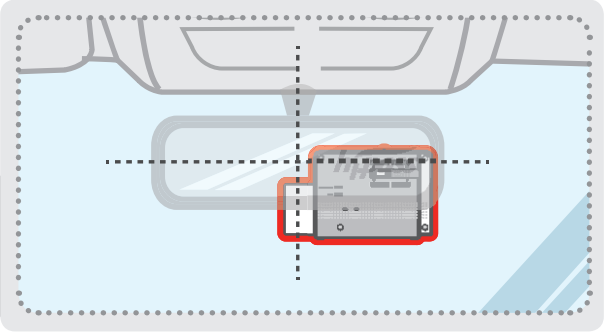




1-5-2. ドライブレコーダーの設置

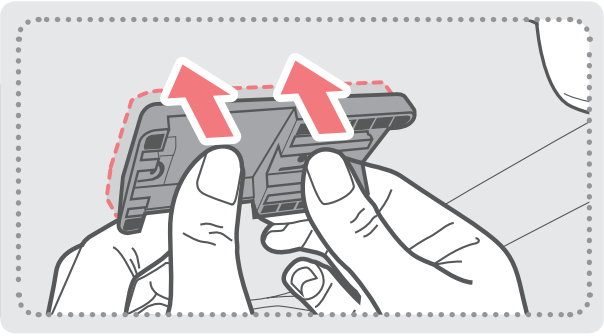
① ドライブレコーダーを設置するフロントガラスを拭きます。
② ドライブレコーダーを取り付ける前にマウントの裏側の保護テープを剥がします。
③ フロントガラスにマウント接着部分を取り付けます。フロントガラスの及びドライバーの視界を妨げない位置に取り付けます。





ヒント

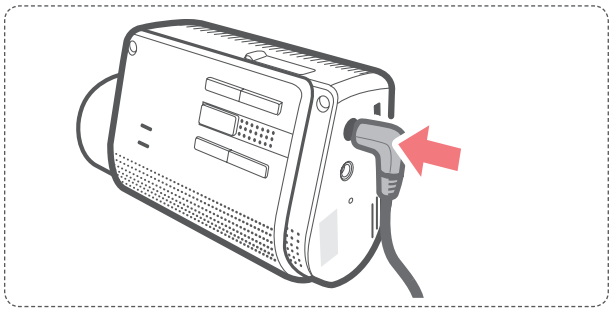
カメラはメインユニットの左側についているので、リアビューミラーの後ろ側の中央右にドライブレコーダーを設置します。



ヒント

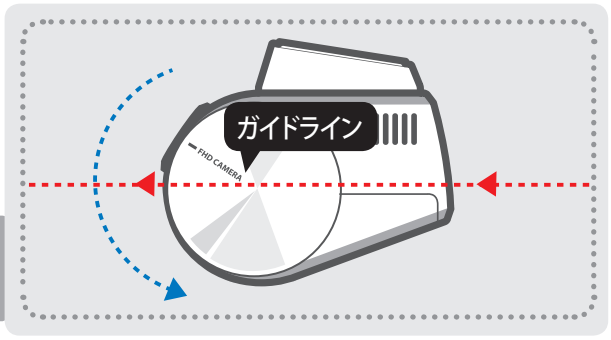
完全に取り付けるために、設置後、本体をマウントから取り外すことをお薦めします。そして、圧力を維持するため5分間フロントガラスの方へマウントを押しつけてください。マウントが完全に付着するまで24時間要します。マウントが完全に付着したのを確認してからドライブレコーダーを取り付けてください。

1-5-3. 電源に接続



① Micro USB側の電源ケーブルを本機のDC-INソケットに接続します。
② 電源ケーブルをシガーソケットに差し込みます。
③ 必要に応じて、接着ケーブル・ホルダーを使って電源接続ケーブルを車体へ固定します。

④ ドライブレコーダーは前方を向き車両と道路と水平になるようにします。本機の横に印されているレベル・ガイドラインを使ってカメラを調整する。

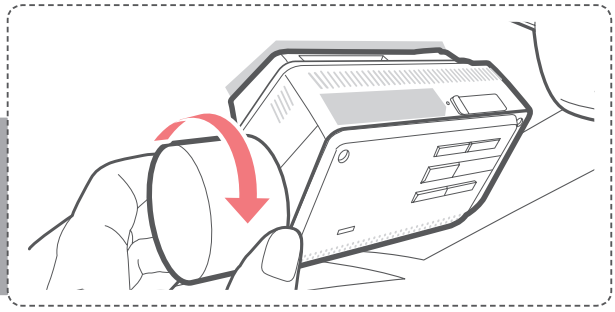


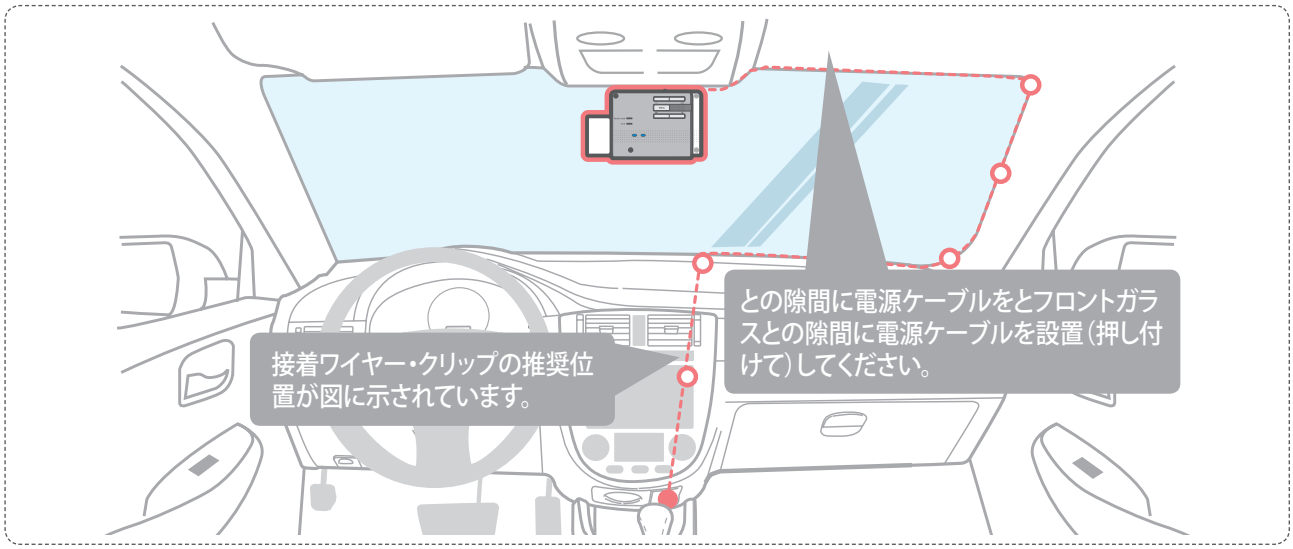
ヒント

ドライブレコーダー上で水平インジケーターが車両と道路と水平になるようにカメラを調整してください。

ヒント

インストールの後、ドライブレコーダーを起動してビデオを録画し、カメラ位置を確かめるためにダッシュカムビューアー（モバイルまたはPC）を使ってビデオをチェックしてください。必要に応じてカメラアングルを調節してください。





電源ケーブルの説明の詳細については、シンクウェアのホームページをご覧ください。
(http://thinkwaredashcam.com)

車両バッテリー放電防御

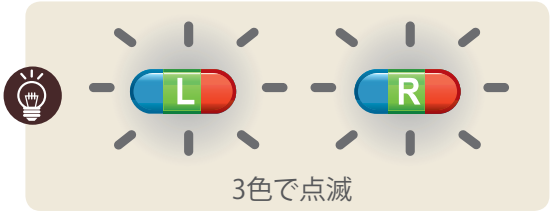
■ 車両のメーカーとモデルにより、エンジン始動キーがOFFまたは、スタートボタンがOFFになっていてもドライブレコーダーに供給されます。これは、車両のバッテリーの性能を低下させるおそれがあります。
■ 車両には、点火装置がある電源をオフにしない少なくとも1つのコンセントが、複数の電源ソケットがある複数の車両に備わっていることがあります。車両の電源コンセントをテストしてください。

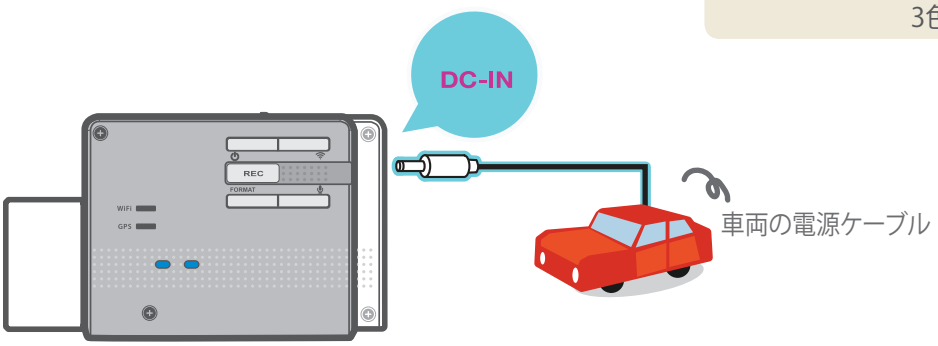
2. 基本操作

2-1. 電源のOn/Off

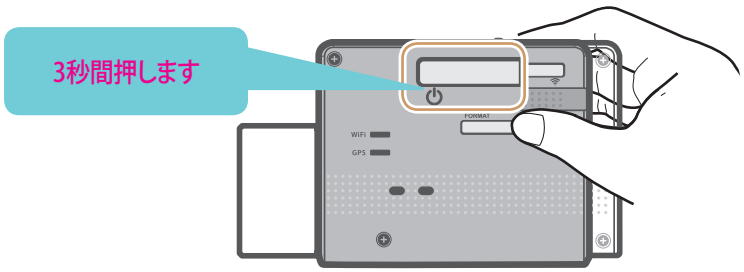
▶ 車両に接続すると、本機は車両の電源状態に連動し、自動的に電源オン/オフになります。

R : レッド
G : グリーン
B : ブルー





▶ 本機のオン/オフを自動的にするため、電源ボタンを (⏻) 3秒間押します。



2-2. 自動調整

1. LDWS 及び FCWSを使用する前にシンクウェア・ダッシュ・カム・モバイル・ビュアー ・アプリの中のADAS 設定ガイド画面を使って設定の調整が必要です。
2. 自動調整は1分以上の間、30km/h (18mph)以上のスピードで直線道路を走行するとき、開始されます。



注意

- シンクウェアダッシュカムモバイルビュアーアプリにより、ALDWSとFCWS機能が有効化された場合のみ、Live ViewのDASセットアップ・ガイド・スクリーンが表示されます。

2-3. 車線逸脱警報システム (LDWS)

車両がその車線を逸脱していると、音による警告でリアルタイムにドライバーに知らせます。この警告は車両が50km/h (約30mph) 以上で走行している場合に有効化されます。
* デフォルト設定：80km/h (約 50mph)

▶ LDWS 設定

1. GPS LEDがグリーン・ライトであることを確かめて、GPSが接続していることを確認してください。
2. LDWS 機能を「Dashcam設定 > 道路安全セッティング設定 > LDWS」を選択して Thinkware ダッシュ・カム Mobile Viewe上で有効化する。



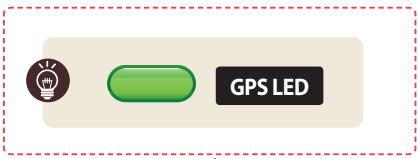


2-4. 前方衝突警報システム (FCWS)

前を走行する車両が減速するか停止した場合後部との衝突を回避するために、音による警告でリアルタイムにドライバーに知らせます。車両が30km/h (20mph) を越えて走行している場合のみ、警告は有効化されます。

▶ FCWS設定

1. GPS LEDがグリーン・ライトであることを確かめて、GPSが接続していることを確認してください。
2. LDWS 機能を「ダッシュカム設定 > 道路安全セッティング設定 > LDWS」を選択して Thinkware ダッシュ・カム Mobile Viewe上で有効化する。

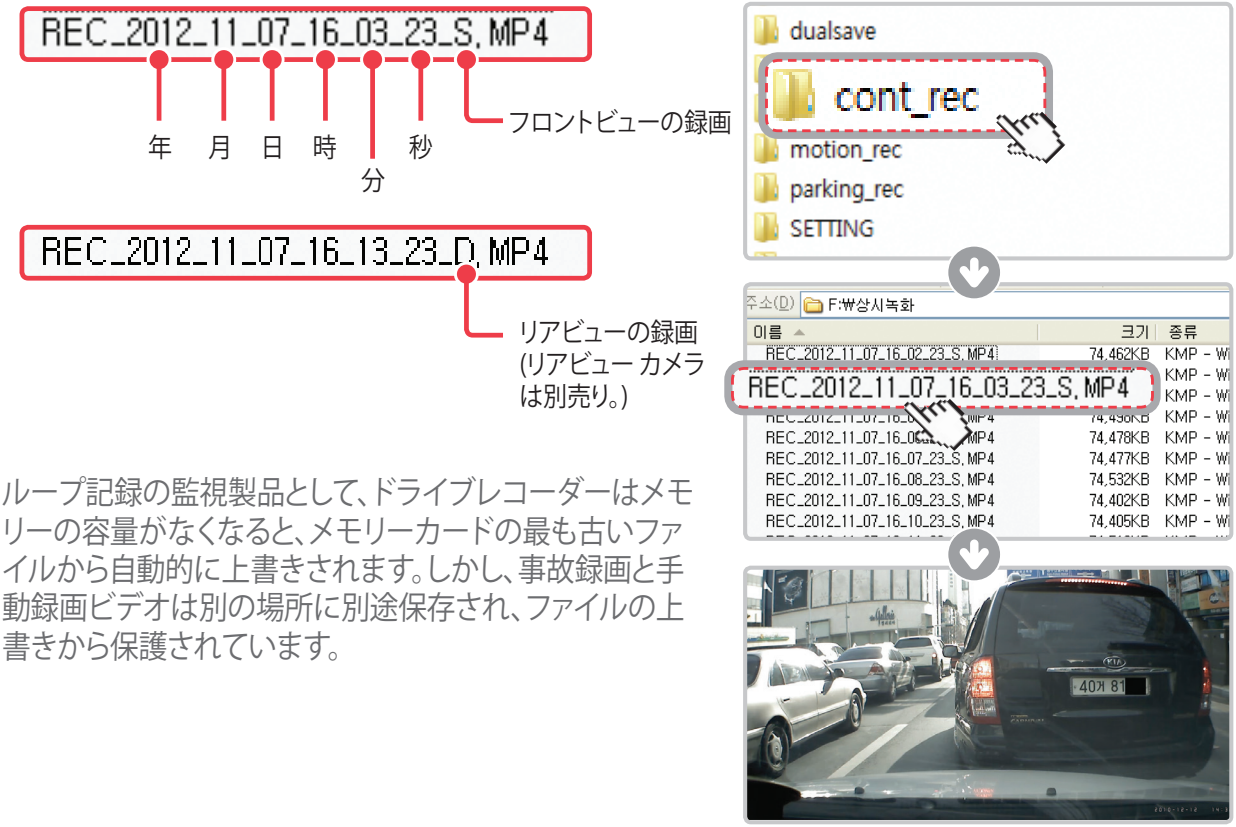




2-5. 記録ファイル

▶ 記録ビデオファイルは、MicroSDカードに日付と時間別でフォルダに保存されています。

ㄴビデオが録画されている場合にファイルが作成されます。



ㄴループ記録の監視製品として、ドライブレコーダーはメモリーの容量がなくなると、メモリーカードの最も古いファイルから自動的に上書きされます。しかし、事故録画と手動録画ビデオは別の場所に別途保存され、ファイルの上書きから保護されています。

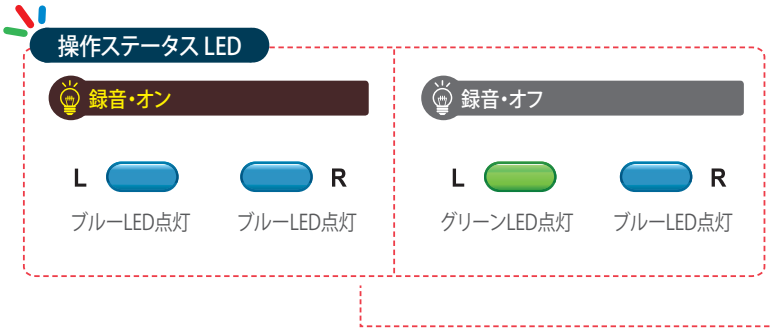
注意

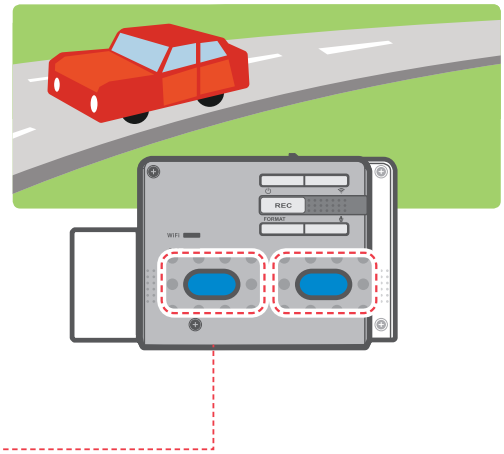
- 外部保存デバイスとして、MicroSDカードを使用しないでください。
- MicroSDカード内のシステムファイルを改ざんしないでください。
  これにより、故障の原因となります。

2-6. 運転中のビデオ録画

2-6-1. 連続録画モード

▶ ビデオは1分単位で録画され、「cont_rec」フォルダの下のMicroSDカードにファイルとして保存されます。

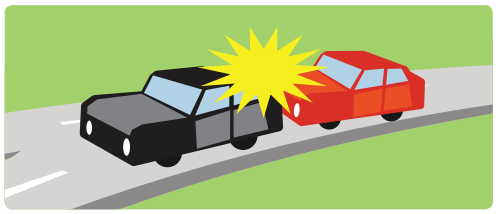


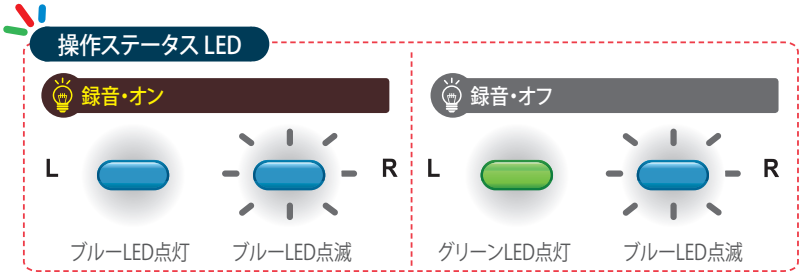


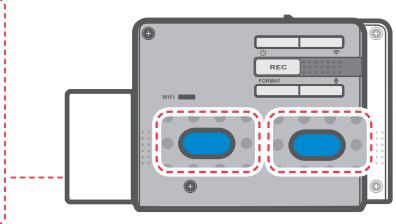
2-6-2. 連続録画モード中のインシデント録画

▶ ダッシュカムが衝撃を検知したとき、衝撃の10秒前と10秒後を自動的に保存します。

▶ 20秒の衝撃検知録画は、「evt_rec」フォルダの下のMicro SDカードに保存されます。ダッシュカムは、衝撃レベルがユーザー設定されたG-センサーの感度より大きい場合にのみ、インシデントとして衝撃を検知することに注意してください。







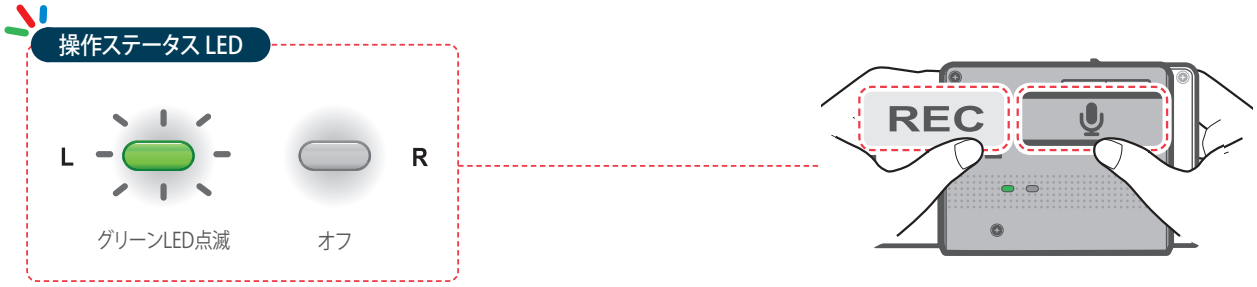
注意

- 道路の凹凸、マンホールまたは平らではない道路を高速で走行した場合、衝撃と検知され、インシデント録画を作動することがあります。
- 本機は、連続する衝撃または複数の事故の場合、インシデント録画を1分まで記録できます。
- 録画できるインシデント映像の長さは、設定により異なります。

2-6-3. Dual Save™ (内部メモリーのバックアップ)

▶ Dual Save は、MicroSD メモリーカードに加えて、セキュアなバックアップとして、内蔵メモリーを利用したシンクウェア特有の技術です。Dual Save 技術は、MicroSD メモリーカードに損傷を与える事故の場合、内部メモリーを利用して、インシデントビデオ録画を保存します。

- REC ボタンと音声レコーディング (🎙) ボタンを同時に 3 秒長押ししてインシデント録画を内蔵デュアル・セーブ・メモリーからMicroSD メモリーカードへコピーします。
- Dual Save がアクティブ化されているとき、衝撃前の4秒間を自動的に保存し、次の2秒間をビデオ録画し、計6秒のビデオクリップを記録します。



注意

- Dual Save 技術は、内部メモリーのバックアップをより安全なものにするため、録画したビデオのコピーを保存します。
- 道路の凹凸、マンホールまたは平らではない道路を高速で走行した場合、インシデントと検知されることがあります。

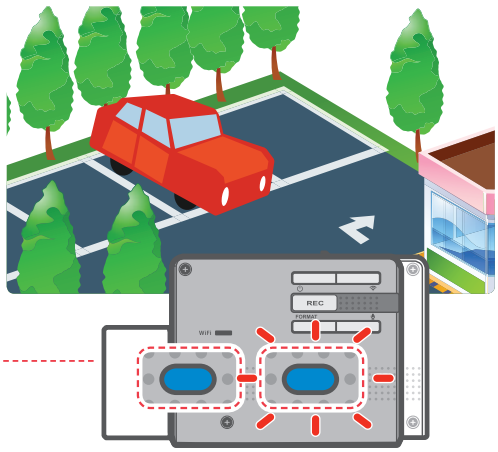
2-7. パーキング中のビデオ録画（オプションアクセサリー）

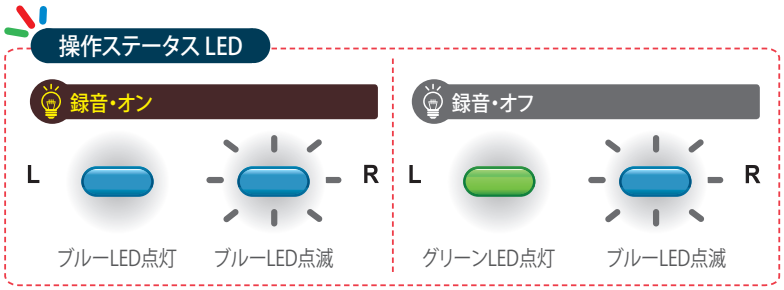
本機能は、ダッシュカムが車両のバッテリーに直接配線で接続されている場合にのみご利用いただけます。配線ケーブルアクセサリーは別途ご購入していただき、設置していただく必要があります。

2-7-1. インシデント録画

▶ ダッシュカムがパーキング中に衝撃を検知した場合、衝撃の10秒前と10秒後を即座に保存します。

20秒衝撃検知録画は、「evt_rec」フォルダの下のMicroSDカードに保存されます。





注意

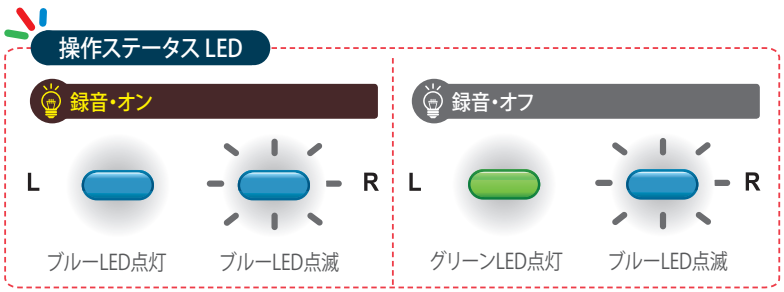
- 本機は、連続する衝撃または複数の事故の場合、インシデント録画の1分まで記録できます。
- 録画されるインシデント映像の長さは、設定により異なります。

2-7-2. モーション検知録画

ドライブレコーダーおよびオプションのリアビューカメラには、車両がパーキング中に何らかの動き（モーション）を検知するとビデオ録画を開始する検知器を装備しています。

▶ ダッシュカムがパーキング中にモーションを検知したとき、10秒間ビデオ録画し、検知前10秒間を直ちに保存します。

- 20秒のモーション検知録画は、「motion_rec」フォルダの下のMicroSDカードに保存されます。



注意

- パーキング監視モード中は、電源ボタンを除いてすべてのボタンが使用できなくなります。

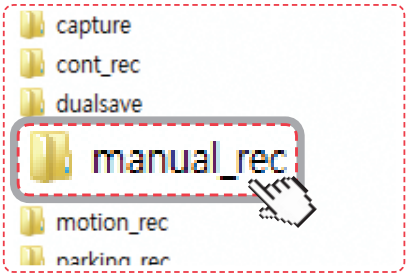
2-8. 手動録画

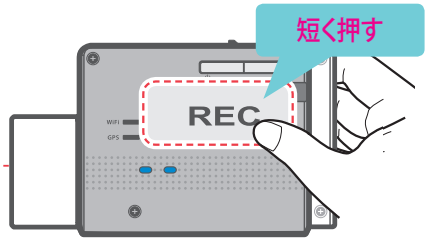
事故の録画に加え、ドライブレコーダーは運転中のセキュリティや場所をキャプチャーするために、ユーザーが手動録画モードを開始することができます。この機能は、車両が直接事故に関わっていない場合に目撃者として、ビデオを保存することにも利用できます。手動モード中に保存されたビデオファイルは、メモリーカードの別の場所に保存され、連続録画モードに上書きされないように保護します。

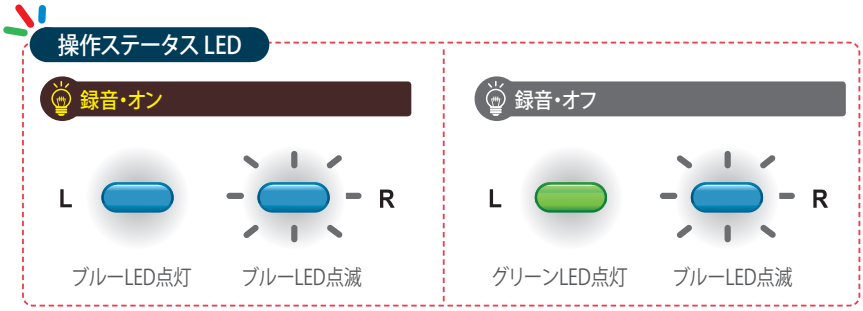
▶ 録画を開始するためにはRECボタンを短く押します。本機は、ボタンが押されたときから1分間（事故前10秒、事故後50秒）ビデオを録画します。録画されたビデオは、「manual_rec」フォルダの下に保存されます。



▶ 手動録画を開始したとき、ボタンを押す前の10秒間が保存されるため、一瞬を逃しても、事故の10秒以内に手動ビデオを開始することでビデオを安全に捉え、保存できます。





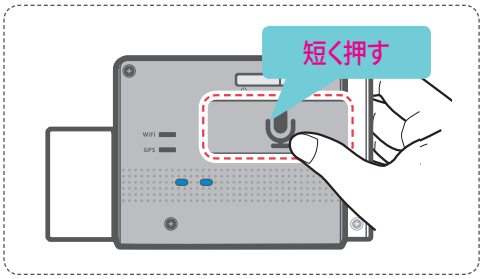


注意

- 手動録画ビデオの保存に割り当てられた保存場所の容量がなくなると、最も古いビデオファイルが新たに録画されたビデオで上書きされます。

2-9. 録音

▶ 録音・ボタンを短く押して（🎙）録音をオン/オフする。

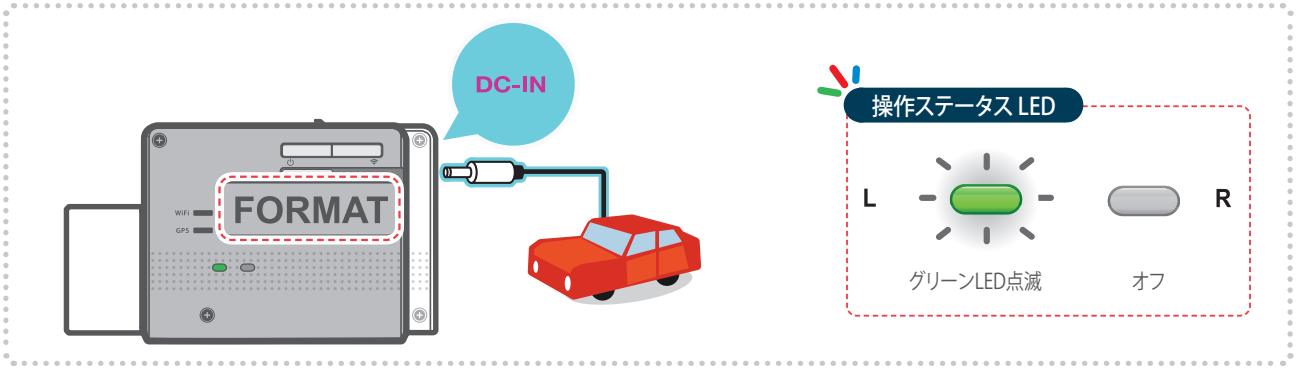


注意

- ユーザーは、本ユーザーマニュアルに規定された目的以外に、本製品を使用する権利を有しません。個人情報保護法および他の関連する法律に従い、本機により録画されたビデオ、会話が同意なく流通された場合、本ユーザーおよび所有者は法的責任を負うものとします。

2-10. MicroSDカードのフォーマット

▶ メモリーカードのフォーマットには3秒長押します。



2-11. 設定の初期化

▶ RECと FORMAT ボタンを同時に長押しして本機の設定を工場出荷時の初期設定にリセットします。



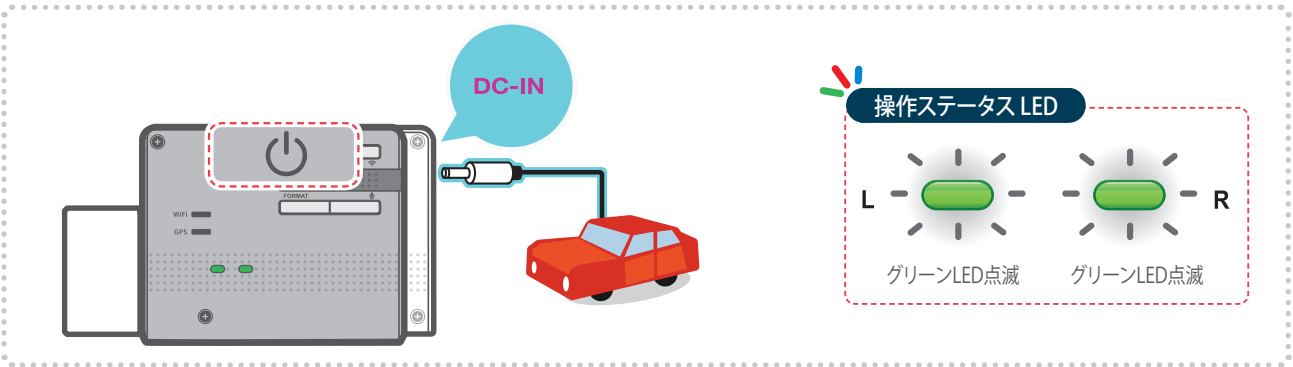
2-12. ファームウェアのアップグレード

▶ MicroSDカードにファームウェアのアップグレードファイルが含まれている場合、システムは自動的にアップデートされます。

└ アップグレードが完了すると、自動的にリセットします。

▶ 本機を常に最新のファームウェアの状態にしてください。
最新ファームウェアのアップデートを、シンクウェアのウェブサイト (www.thinkware.com) にてご確認ください。

▶ 本機のアップデート中に電源を切らないでください。
電源を切るとダッシュカムの損傷を引き起こします。



3. モバイル・アプリケーション

3-1. シンクウェアダッシュカムモバイルビュアー

アプリは Google Playや iTunesストアでご購入いただけます。
- Mobile App OS バージョン要件:Android 4.0 (Ice Cream Sandwich) またはそれ以上のバージョン、iOS 7.0 またはそ以上のバージョン。
- Lollipopでオペレーションしている機器においてはアプリを利用する上で、CellularデータData ネットワーク)を無効化する必要がある場合があります。
- iOS 機器の場合、Wi-Fi 設定はスマートフォンもしくはタブレット設定からのみ可能です。

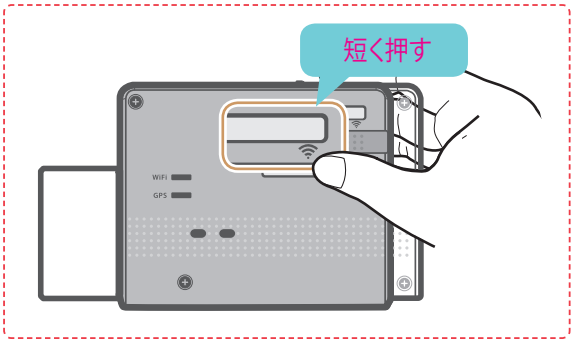
3-1-1. パスワードを使ってWi-Fiに接続します

① ダッシュカムモバイルビュアー・アプリをダウンロードしてインストールしてください。

② Wi-Fi 接続モードにするには、ダッシュ・カム上でWi-Fi ボタンを短く押してください。

③ iOS機器の設定でWi-Fiがオンであることを確認してください。シンクウェアダッシュカムモバイルビュアー・アプリで、Wi-Fiオプション(SSIDリストから「thinkware」を選択)をオンにして、「123456789」とパスワードを入力してください。

└ パスワードは、最初の接続の際にのみ必要です。それ以降の接続では自動的に接続されます。





※ 1分以内に接続されない場合、ダッシュ・カムはWi-Fi接続モードを自動的にオフにします。

注意

- ドライブレコーダーと接続するスマートフォンとの距離範囲は、およそ10メートルです。屋外の環境では約1メートルです。
- ダッシュカムモバイルビュアーを利用してアクセスしている間、ADAS機能 (路上安全警告システム)の機能はOFFとなります。
- ドライブレコーダーにおいては、選択キーやボタンのみが作動します(電源ボタンは除く。)

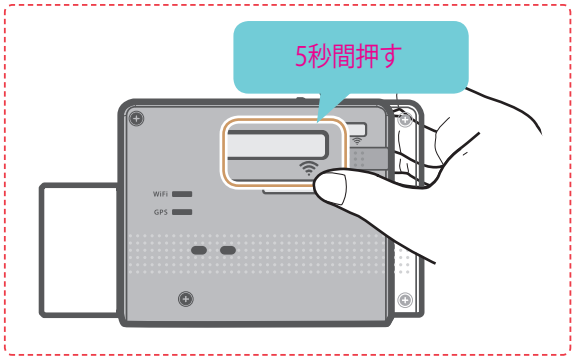
▶ WPS (Android OSのみ)を使って接続

① ダッシュカムモバイルビュアー・アプリをダウンロードしてインストールしてください。

② WPS接続モードにするにはWi-Fi ( ) ボタンを 5 秒以上長押ししてください。

③ Wi-Fiを使ってThinkware dash camに自動的に接続するにはThinkware Dash Cam Mobile Viewerアプリケーション上で「WPS」ボタンを選択してください。(約 20~30 秒要します。)

↳ :Wi-Fi サーチをリトライ。



3-1-2. シンクウェアダッシュカムモバイルビュアーのメインメニュー

Thinkware Dash Cam Mobile Viewer メニューについて、Android機器に基づいて解説しています。
iOS 機器とはレイアウトやスクリーンキャプチャーが若干異なります。

▶ ライブ・ビュー





3-1-3. ビデオリスト

▶ 常時**録画**：常時録画モードのループ録画ビデオリストを表示します。(1 分単位)

▶ 常時録画**モードのインシデント**：常時録画モードのインシデント録画ビデオリストを表示します。

▶ **パーキングモードにおけるモーション**：パーキング監視モードのモーション検知録画リストを表示します。

▶ **パーキングモードにおけるインシデント**：パーキング監視モードのインシデント録画ビデオリストを表示します。

▶ **手動録画**：手動録画ボタンを押して開始された手動録画ビデオリストを表示します。



▶ **録画リスト・メニュー**

- **ダウンロード**：ドライブレコーダー内のMicroSD カード (Wi-Fi への接続が必要)から選択したビデオをデバイスへコピーします。
- **ビデオ情報**：選択したビデオ・ファイルの日付/時間、ファイル名、レコーディング・タイプ、サイズ、長さ、ビデオ品質を表示 します。
- **削除**：選択したビデオ・ファイルを削除します。



▶ビデオ再生



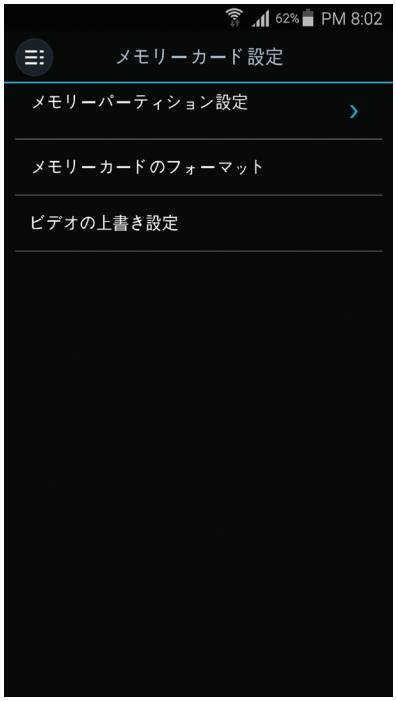


注意

- Android OS の機器の場合、ダウンロードした動画がリストに反映されるまでしばらく時間を要する場合があります。

3-1-4. メモリーの管理

▶ メモリーカードの管理

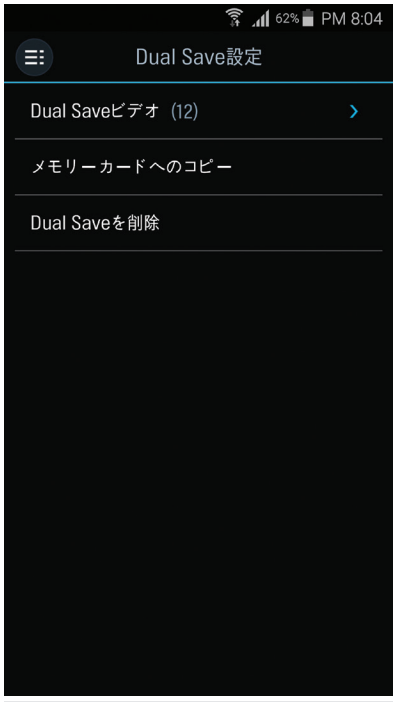


- **メモリーのパーティション設定 :**
  メモリーカードの保存領域をどのように録画モードごとに割り当てるかを設定します。(メモリーのパーテーション設定を変更すると、メモリーカード全体がフォーマットされます)
- **メモリーカードの初期化 :**
  MicroSDカードの初期化は、メモリーカードに保存されたビデオファイルすべてを完全に消去します

※ メモリーカード初期化の前に、データをバックアップすることを推奨します。メモリーカードを初期化すると、すべてのデータは削除され、復元できません。

- **ビデオ書き換え設定 :**
  各モードに保存された最も古いビデオに、新しいビデオの上書きを許可する、上書きオプションの設定

▶ デュアル・セーブ・ビデオ



- **デュアル・セーブ・ビデオ** : デュアル・セーブ・ビデオのリスト
- **メモリーカードにコピー** : 内部メモリーに保存したすべてのDual SaveビデオをMicroSDカードにコピーします。
- **デュアル・セーブ削除** : 内部メモリーに保存していたすべてのDual Saveビデオを削除します。

3-1-5. ドライブレコーダーの設定

▶ カメラの設定



- **フロント/リア・カメラ解像度：**
  フロント/リア・カメラによるビデオ録画の解像度を設定します。
- **フロント/リア・カメラの明るさ：**
  フロント/リアカメラのビデオ録画の明るさ設定
- **ワイドダイナミックレンジ：**
  逆光等の環境下でもクリアな映像を録画するために、ワイドダイナミックレンジモードを設定します。

▶ 録画の設定



- **連続録画の衝撃感度 ：**
  パーキング録画モード時の衝撃感度を設定します。車両タイプに合わせて感度を設定することを推奨します。高感度設定は、高級セダンのようなソフトな乗り心地の車両にお勧めします。低感度設定は、トラック、SUVのような車にお勧めします。
- **パーキングモード：**
  車両のエンジンが停止すると、パーキングモードに自動的に移行するため、車両点火装置ステータスを監視します。ドライブレコーダーはパーキングモードを使用するためにはオプションのバッテリー電源ケーブルが設置されている必要があります。
- **パーキングモードの衝撃感度：**
  パーキングモード中の衝撃感度を設定する
- **モーション検知感度：**
  パーキングモード中の モーション検出感度を設定する。
- **感度：**
  パーキングモードにおける衝撃感度レベルを設定する。
- **装置自動オフタイマー：**
  車両バッテリーを放電から保護するため、パーキングモードの場合に、自動的に電源をオフにするドライブレコーダーの動作時間を設定します。
- **装置オートオフ・ボルテージ：**
  バッテリー上がりを防止するため、設定された値より低い電圧レベルを5分以上検知した場合、自動的にシャットダウンするための電圧レベルを設定します。

▶路上安全警告システム 設定



- **道路安全警告通知 :**
  路上安全警告のための聴覚通知を設定します。
  ※ 本機能は日本では、使用できません。
- **車両タイプ :**
  車線逸脱警報システム(LDWS)や前方衝突警報システム(FCWS)のような最新のドライバー支援システム(ADAS)機能を最大限に使用するため車両タイプを設定する。
- **車線逸脱警報システム (LDWS) :**
  LDWSドライバーアシスタント通知を設定します。
- **LDWS感度 :**
  車線逸脱検知感度を設定します。(感度を「高い」に設定することを推奨します)
- **LDWS 速度 :**
  LDWS通知が有効となる速度を設定します。車両が設定された速度で運行中に車線から方向を変えたときにのみドラーバーに通知します。
- **前方衝突警報システム (FCWS) :**
  FCWS ドライバーアシスタント通知を設定します。
- **FCWS 感度 :** 前方衝突検知感度を設定します。

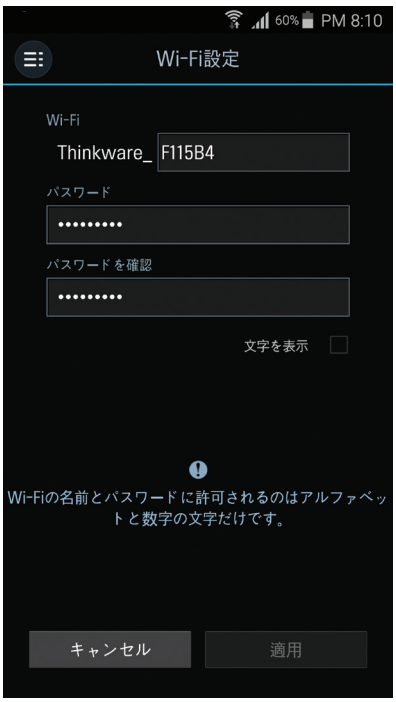
▶システム設定



- **言語** : ダッシュカムシステムの言語を設定します。
- **ボリューム** : ボリュームレベルを設定します。
- **セキュリティ LED** : セキュリティLED のパターンを設定します。
- **時間帯** : 時間帯を設定します。
- **データライト・セービング** : サマータイム調整を設定します。
- **速度単位** : 車両速度の単位を設定します。

▶ Wi-Fi 設定

ㄴWi-Fi 名とパスワードを設定します。



▶ 情報

ㄴ**App 情報** : 現在のバージョンと最新バージョンを表示します。

ㄴ**ドライブレコーダー情報** : ドライブレコーダー情報を表示します。

ㄴ**GPS 情報** : GPS 情報を表示し GPS リセット・オプションを提供します。

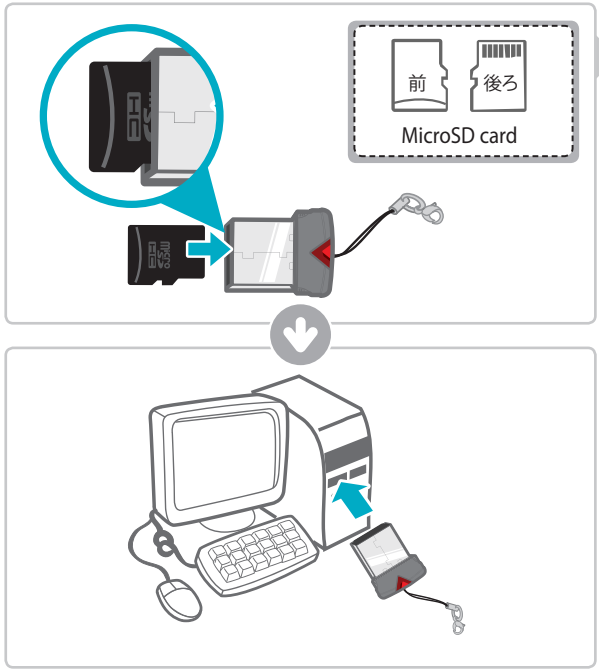
4. PCビューアーソフトウェア

4-1. シンクウェアダッシュカムPCビューアー

Windowsのシンクウェアダッシュカムビューアーは、ダッシュカムに録画されているビデオを閲覧するためのものです。ダッシュカムにより記録されるビデオファイルは、1分単位であり、ユーザーはPCビューアーを使用して1つの連続したビデオとして録画された部分を見ることができます。

シンクウェアダッシュカムPCビューアーのセットアップファイルは、パッケージの中のMicroSDカードに含まれています。最新ダッシュカムのPCビューアーアプリケーションについては、シンクウェアのホームページ(www.thinkware.com)をご覧ください。

4-1-1. シンクウェアダッシュカムPCビューアーソフトウェア

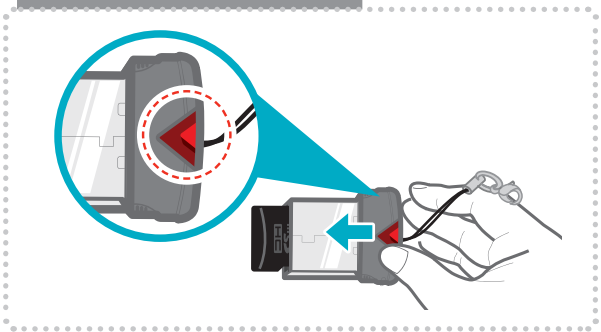


① 図に示してあるように、前側を上向きにしてUSB MicroSDカードリーダー(パッケージの中)にMicroSDカードを挿入します。

② PCにMicroSDカードリーダーを接続します。

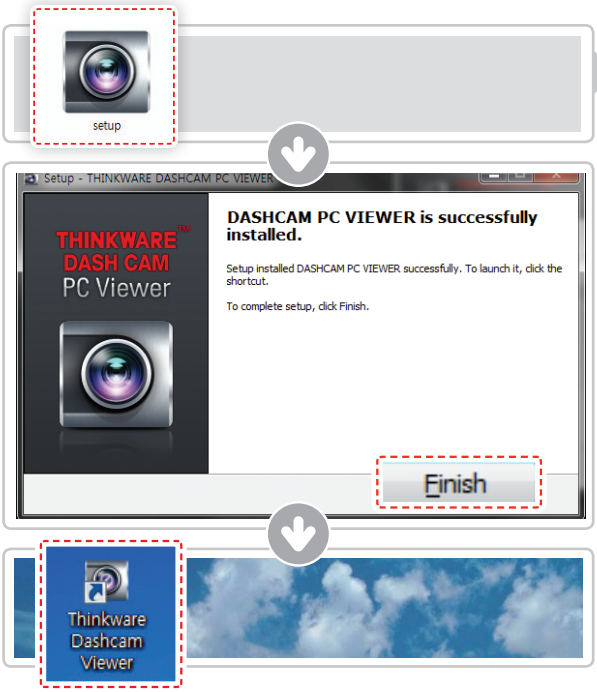
USBデバイスに挿入するとき、USBカードリーダーが正しい方向を向いていることを確認してください。

Micro SDカードを取り出す



4-1-2. シンクウェアダッシュカムPCビュアーのインストール

Windows



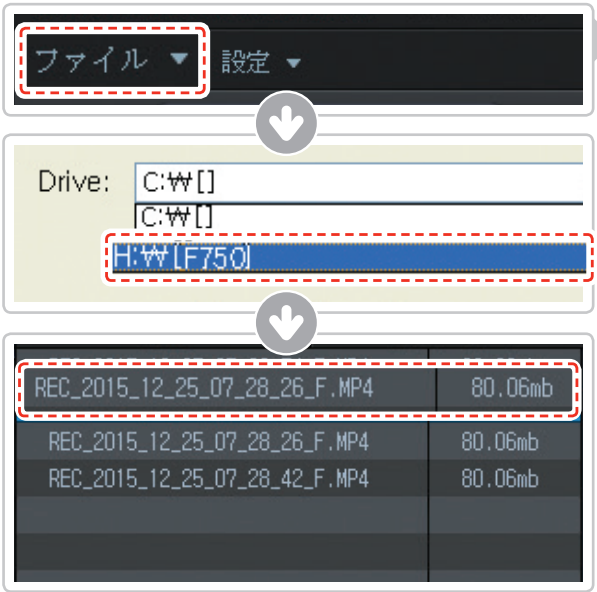
① プログラムのインストールを開始するため、MicroSDカードに保存されているシンクウェアダッシュカムビュアーセットアップをダブルクリックします。

② PCビュアーインストールが完了した後、アプリケーションアイコンをダブルクリックすると、アプリケーションのメイン画面が表示されます。

注意

- システム要件Windows XP (32bit), Windows 7 (32/64bit), Windows 8.x (32/64bit)

4-1-3. F750のデバイスドライブを選択



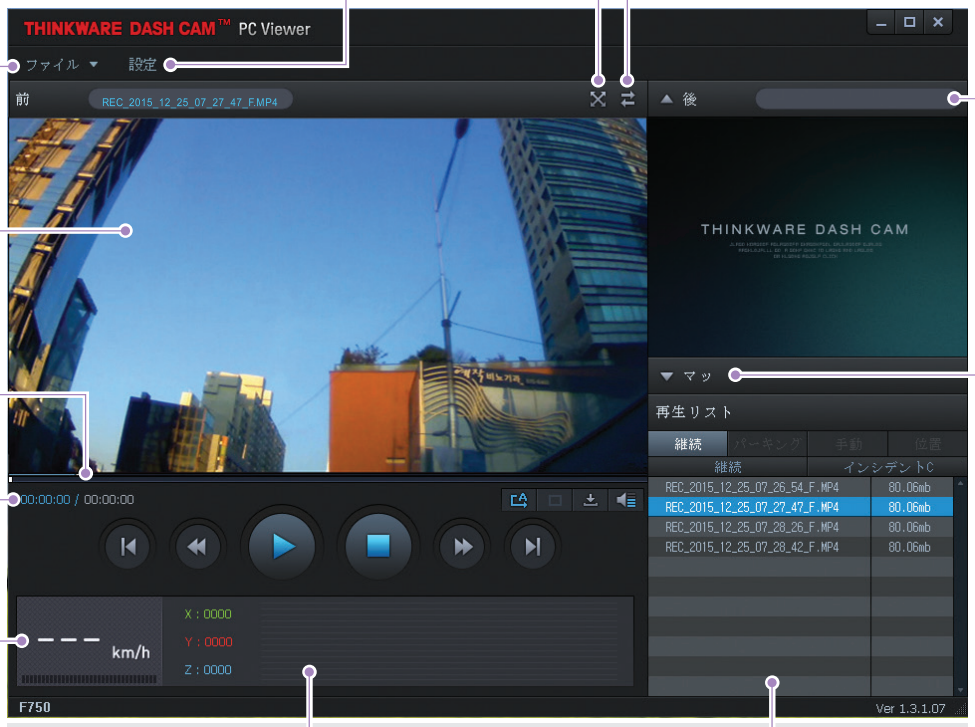
① メニューから「ファイル」▼をクリックし、接続されたMicroSDカード用のポータブルストレージドライブを選択します。

② メモリーカードのビデオプレイリスト全体をロードするためにリストからファイルを選択します。

注意

- MicroSDカードがドライブレコーダーで初期化されるまでは、ソフトウェアでMicroSDカードが認識されません。
- シンクウェアダッシュカムPCビュアーにアクセスするまでは、ダッシュカムとMicroSDカードのビデオクリップを少なくとも1つに保存することを推奨します。

4-1-4. シンクウェアダッシュカムPCビューアーの概要



No.	名前	説明
	前の再生	現在のファイルのひとつ前のファイルを再生します。
	10秒巻き戻し	再生されている現在のファイルを10秒巻き戻します。 (選択している場合、10秒まで続けて巻き戻しします)
	再生/一時停止	記録したファイル/一時的に停止したファイルを再生します。
	停止	再生しているファイルを停止します。再生ステータスは、ビデオの開始時点にリセットします。
	10秒早送り	10秒まで再生されている現在のファイルを早送りします。 (選択している場合、10秒まで続けて早送りをします)
	次を再生	現在のファイルの次のファイルを再生します。
	リピート再生	再生が終了すると、自動的に最初に戻って再生を繰り返します。
	ズーム	ビデオ拡大率を設定します。(0.5倍 / 1.0倍 / 1.5倍 / 2.0倍)
	画面設定	明るさ/ビデオのスピードを設定します。
	保存	再生しているビデオを保存します。
	ボリューム	再生のボリュームを設定します。

4-1-5. ビデオの再生リストを見る

▶ 各録画モードの再生リストを表示するために、適切なフォルダ（連続録画、インシデント録画、手動録画、パーキングモーション、パーキングインシデント）を選択します。



連続録画再生リスト　　手動録画再生リスト

5. 仕様書

5-1. 仕様書

本製品の仕様書は、製品の改良のために事前の予告なく変更することがあります。

アイテム	スタンダード	注意
モデル	F750	
サイズ/重量	105.2 x 61.5 x 41mm / 140.5g 4.14 x 6.36 x 1.6 inches / 0.31 lbs	
容量	MicroSDカード(UHS-I)	16/32/64GB
録画モード	常時録画モード	1分単位で録画
	インシデント録画モード	
	手動録画モード	
	パーキング監視モード	オプションのバッテリー電源ケーブルとインストールは、車両の電源がオフの場合に、常時電源供給として必要になります。
	録音	録音のオン/オフは録音ボタンを長押し
カメラ	2.19 Megapixel, 1/2.9" CMOS	リアカメラについても同様
視野角	約 140° (対角線)	リアカメラについても同様
ビデオ	フルHD (1920 x 1080/H.264/拡張 MP4)	リアカメラについても同様
フレームレート	1 チャネル (フロントビュー) : 30 fpsまで	リアカメラについても同様
音声	PCM (パルスコードモジュレーション)	
加速度センサー	3軸加速度センサー (3D, ±3G)	調整衝撃感度 (5レベル)
リアカメラ	V-IN ポートのサポート	リアビューカメラ接続ポート
GPS	内臓GPS	路上安全警告システム (ADAS)
入力電力源	DC 12/24V	後部ビューカメラ : 3.3V DC
現在の消費	2CH : 3.5W/1CH : 2.5W (平均)	完全に充電されたスーパーキャパシターに基づく
補助動力装置	スーパーキャパシター	
セキュリティLED	パノラマ・ホワイト LED	
通知 LED	3色 LED	2 後部 LED
ハードウェア通知 LED	Wi-Fi 受信機, GPS 受信機, 操作状態	2 後部 LED
警告音	内臓スピーカー	音声 (ブザー音) ガイダンス
操作/保管温度	-10°C から 60°C/ -20°C から 70°C 14°F から 140°F/ -4°F から 158°F	
接続インターフェース	1 x V-IN port	